

インターネットの普及予測について

～日本のネット環境はブロードバンド化の進展により大幅に改善～

株式会社 情報通信総合研究所（東京都中央区日本橋人形町、代表取締役社長：小原暉章）は、日本のインターネットの普及予測等についての調査研究を行い、その結果をまとめました。

調査研究結果の要旨

日本のインターネットは、世帯、人口ともにほぼ半数に普及している。今後も順調に普及拡大し、2005年度には4000万世帯、1億人を突破すると予測する。特にブロードバンドの増加は急速で、4年間で約8倍になると予測する。

日本のインターネット環境は、これまでの問題点であった「高額な月額料金」、「定額制でない料金」、「ダイヤルアップ接続」の全てがブロードバンド化の進展に伴って解消されつつあり、大きく改善の方向に向かっている。

調査研究結果のポイント

1. インターネット利用世帯、利用人口について

<現状> 日本のインターネット利用は、およそ2世帯に1世帯、2人に1人の割合となった。

<予測> 2005年度には、利用世帯数は4000万を、利用人口は1億人を、それぞれ突破する。

特に、ブロードバンド利用世帯の増加は著しく、2001年度の約400万から2005年度には3000万を超える。

インターネットの利用世帯、利用人口は、2001年度末時点でそれぞれ世帯普及率約49%（利用世帯数約2,400万世帯）、人口普及率約47%（利用人口約6,000万人）となり、およそ半数がインターネットを利用している。

今後の予測では、インターネット利用世帯は2005年度に4,000万世帯を突破し、世帯普及率は約86%に増加する。

特にブロードバンドの利用世帯は、2001年度の約390万世帯（世帯普及率8%）から、2005年度には約3,200万世帯（同66%）となり、4年間で8倍になる。

その内訳は、2005年度まではADSLが多勢を占めるが、その後、FTTHインターネットが急速に増加し、2006年度にはこの2つがブロードバンドの主流となる。

（別紙1、2参照）

2. ADSL インターネット料金の比較（日本、米国、韓国）

日本は、米国の半額以下の価格である。
韓国との比較では、8Mbps サービスでは日本の方が安価。

日本、米国、韓国の主要事業者の ADSL インターネットの月額料金を比較すると、1.5Mbps(下り最大速度)のサービスでは、日本 3,419 円、米国 7,428 円、韓国 3,135 円となり、日本は米国の半額以下となっている。

また、8Mbps(同)のサービスでは、日本 3,377 円、韓国 4,076 円となり、今後主流となる 8 Mbps では日本の方が安価である。
(米国は 8 Mbps のサービスは家庭向けには未提供)

提供中のサービスを、価格と速度の観点で比較した場合でも、日本は米国より遥かに優れており、韓国ともほぼ同等な状態となっている。

(別紙その3、4参照)

3. エンドユーザーのインターネット環境の変化について

定額制料金での利用者は、約 2.5 倍、常時接続での利用者は、約 17 倍に増加している。(2年前との比較)

インターネット利用者のうち、月額料金が定額制である比率は、1999 年の約 32%から、2001 年には約 77%と約 2.5 倍増加している。常時接続の比率は、1999 年の約 1%から、2001 年には約 17%と約 17 倍の増加となっている。

ブロードバンドの普及拡大、事業者の提供サービスの多様化が増加の要因と考える。

(別紙その5参照)

4. ブロードバンドに対する利用者の評価

ブロードバンド利用者の、約 80%が満足している。
満足している点は、「定額制料金」、「常時接続」が多数を占める。

ブロードバンド利用者の約 80%が、現在のサービスに対して「非常に満足している」「やや満足している」と回答している。逆に、「非常に不満」「やや不満」は約 10%と少数に留まっている。

満足している点については、「定額制の料金」、「常時接続」が最も多くを占めており、次いで「速い速度」、「安価な月額料金」が挙げられている。

(別紙その6参照)

5. ブロードバンドでの利用コンテンツについて

ブロードバンド向けコンテンツの利用が、増加傾向にある。

ナローバンドからブロードバンドへと移行することにより、ブロードバンド向けのコンテンツ（ストリーミング、オンラインゲーム、音楽/映像/ソフトのダウンロード等）の利用が大幅に増加している。また、P to P系のコンテンツ（インターネット電話等）も絶対数は少ないながらも増加傾向にある。

（別紙その7参照）

< 調査概要 >

弊社実施の下記アンケート調査の結果を元に、上記予測等を実施いたしました。

(1) インターネット普及状況調査

実施期間：2001年12月

実施対象：全都道府県の15才以上の個人

調査方法：電話アンケート

有効サンプル数：5000

(2) 低年齢層の情報通信サービス利用状況調査

実施期間：2001年12月

実施対象：全都道府県の6才～14才の個人とその親

調査方法：電話アンケート

有効サンプル数：500

(3) インターネット利用内容調査

実施期間：2002年1月

実施対象：全都道府県の15才以上のインターネットを利用している個人

調査方法：ウェブアンケート

有効サンプル数：4692

<本調査研究での用語について>

インターネット利用世帯について

インターネット利用世帯：家庭で、固定網により、最近1ヶ月以内に少なくとも1回、家族の内少なくとも1人は、インターネットを利用している世帯をいう。

ブロードバンド：FTTH、ADSL、CATVのインターネット並びに500kbps以上の速度でのインターネットをいう。

ナローバンド：上記以外

インターネット利用人口について

インターネット利用人口：利用場所を問わず、最近1ヶ月以内に少なくとも1回は、インターネットを利用している、6才以上の個人をいう。

株式会社情報通信総合研究所 概要 <http://www.icr.co.jp/>

1985年6月に、国内外の情報通信に関する調査・研究を専門とするシンクタンクとして設立されました。固定通信や移動通信、インターネット・IT、通信と放送の融合から地域の情報化まで、情報通信の広範な分野にわたる調査研究、コンサルティング、マーケティング、出版事業などの活動を展開しております。

<お問い合わせ先>

株式会社情報通信総合研究所

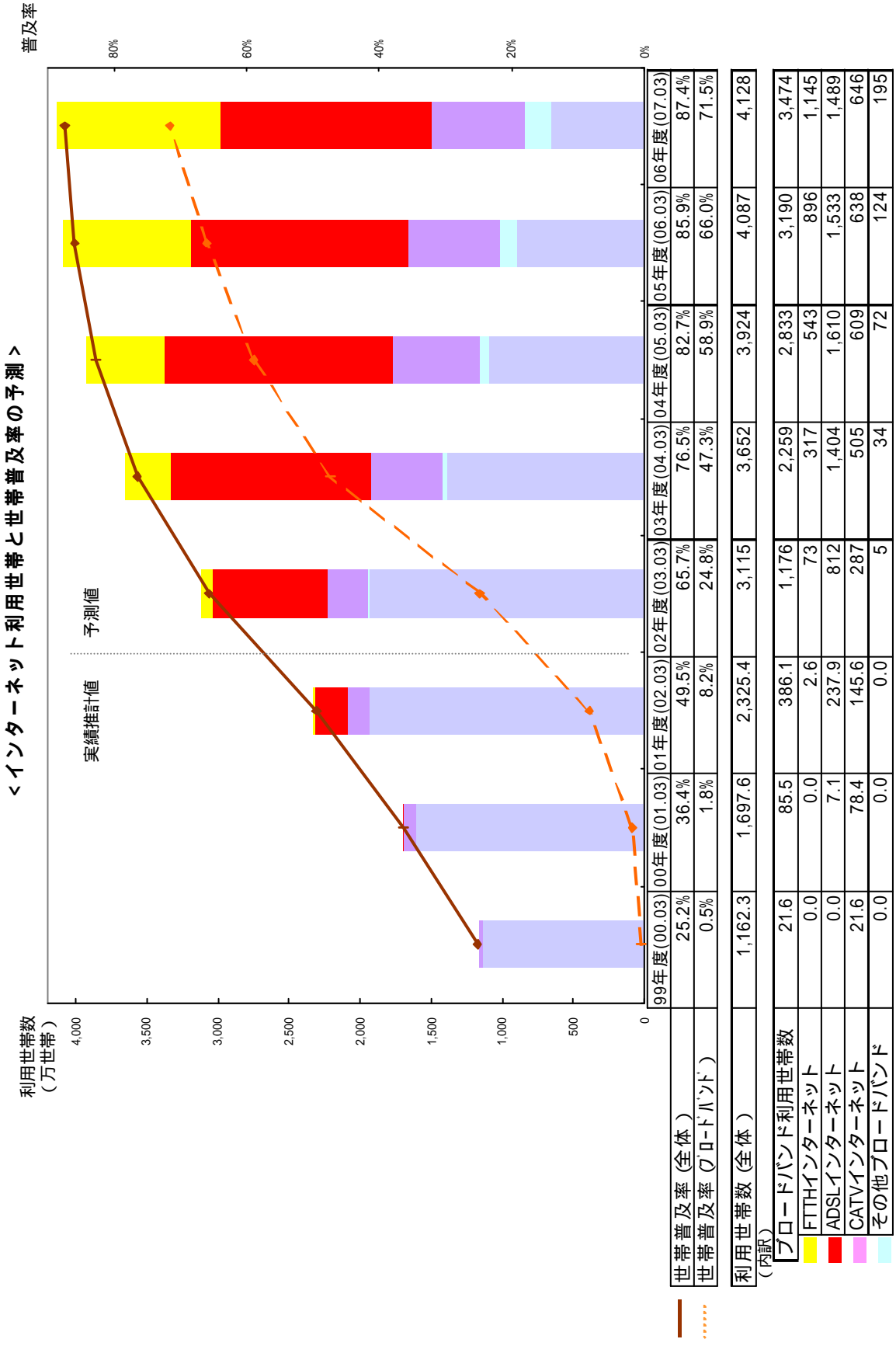
通信事業研究グループ

須田 英二

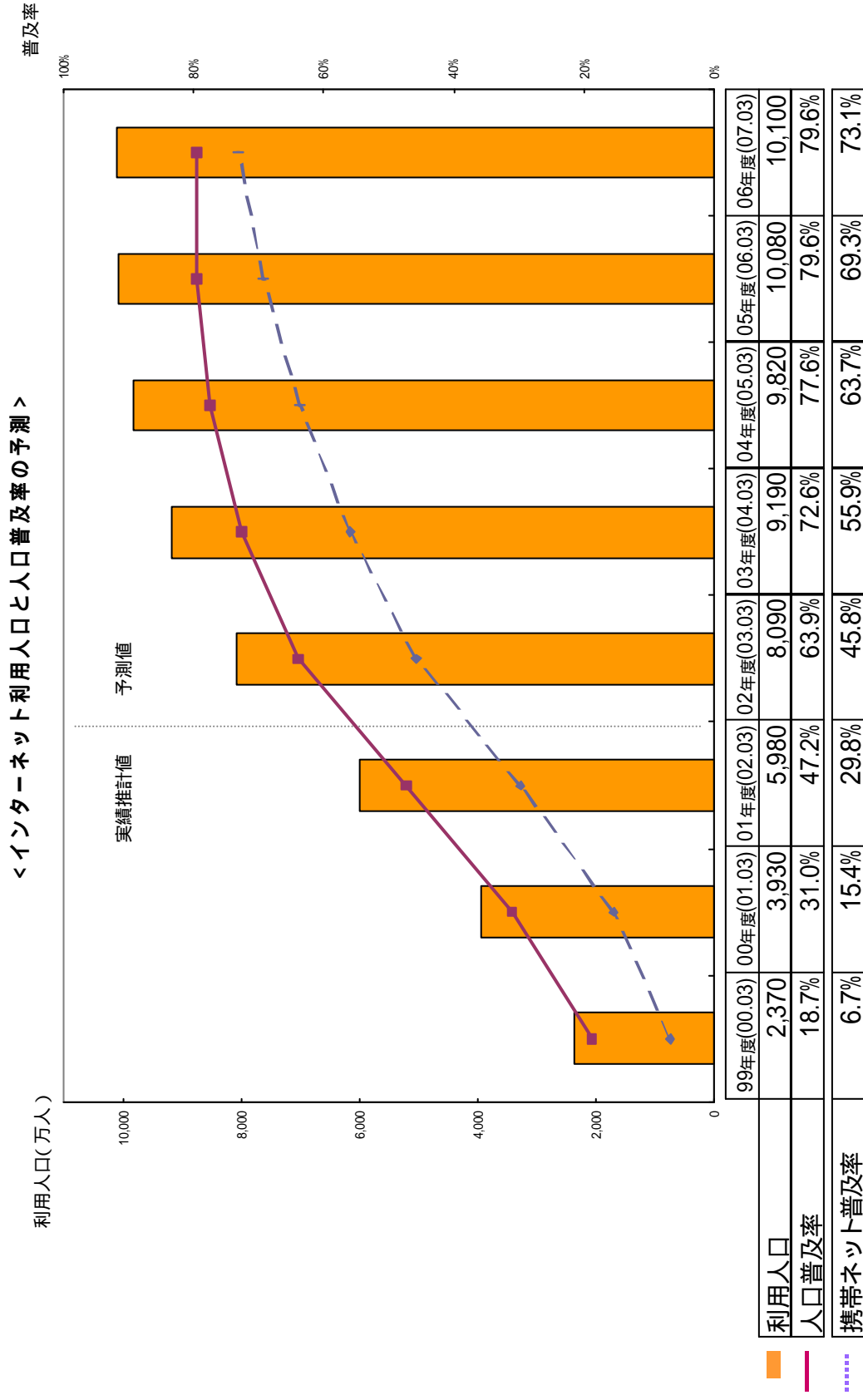
電話: 03-3663-7152

メール: suda@icr.co.jp

「インターネット利用世帯の予測」



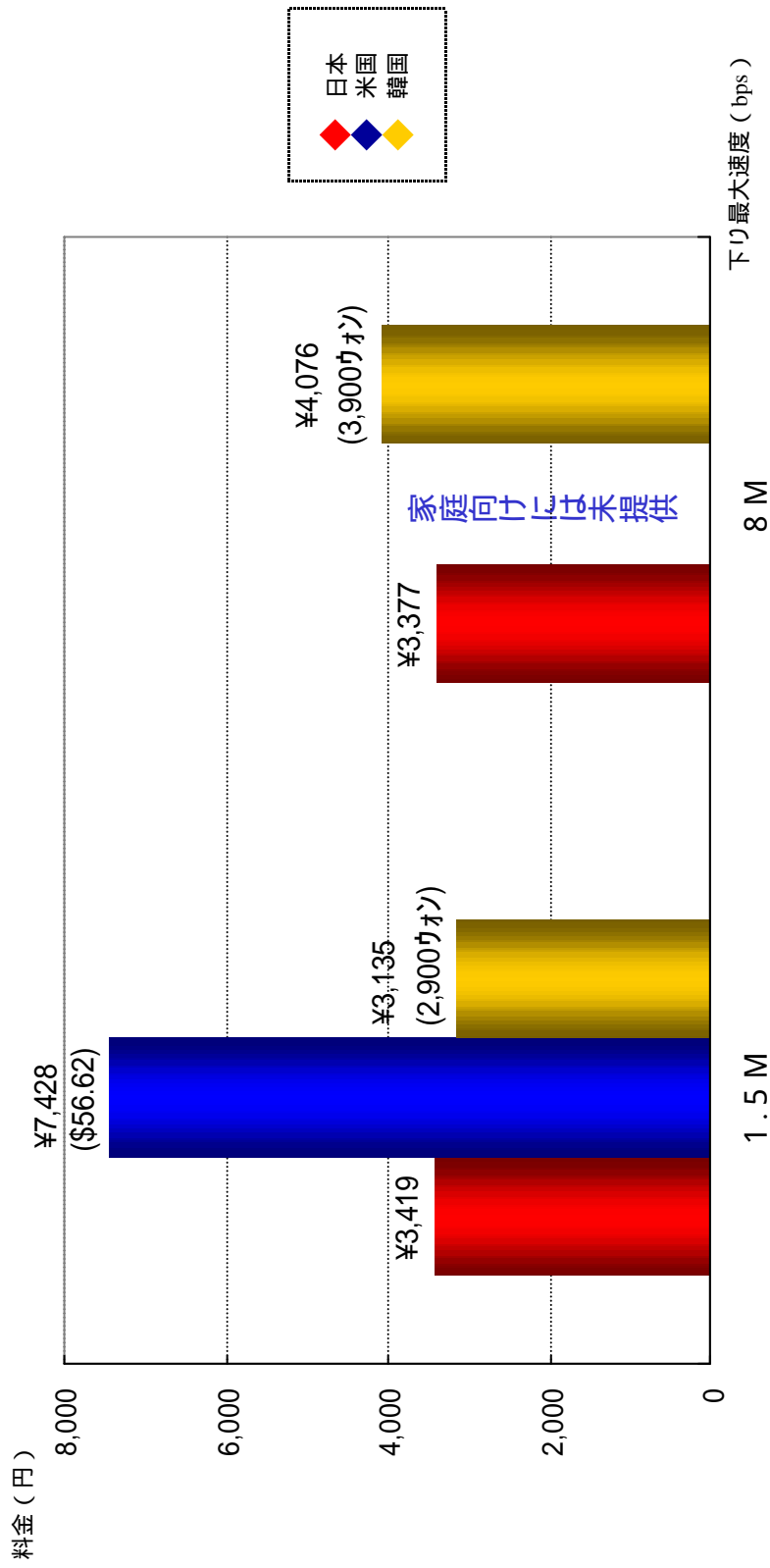
「インターネット利用人口の予測」



「米国、韓国とのADSLインターネット料金の比較」(1)

日本は、米国の半額以下。韓国とはほぼ同等ながら、8Mサービスでは安価。

< ADSLインターネット主要事業者の月額料金平均価格の比較 >



(日本) 1.5 M : @nifty, OCN、ぷらら 8 M : 左記 + Yahoo!BB
 (米国) 1.5 M : Verizon, SBC, Covad
 (韓国) 1.5 M : KT、ハナロ 8 M : 左記と同じ

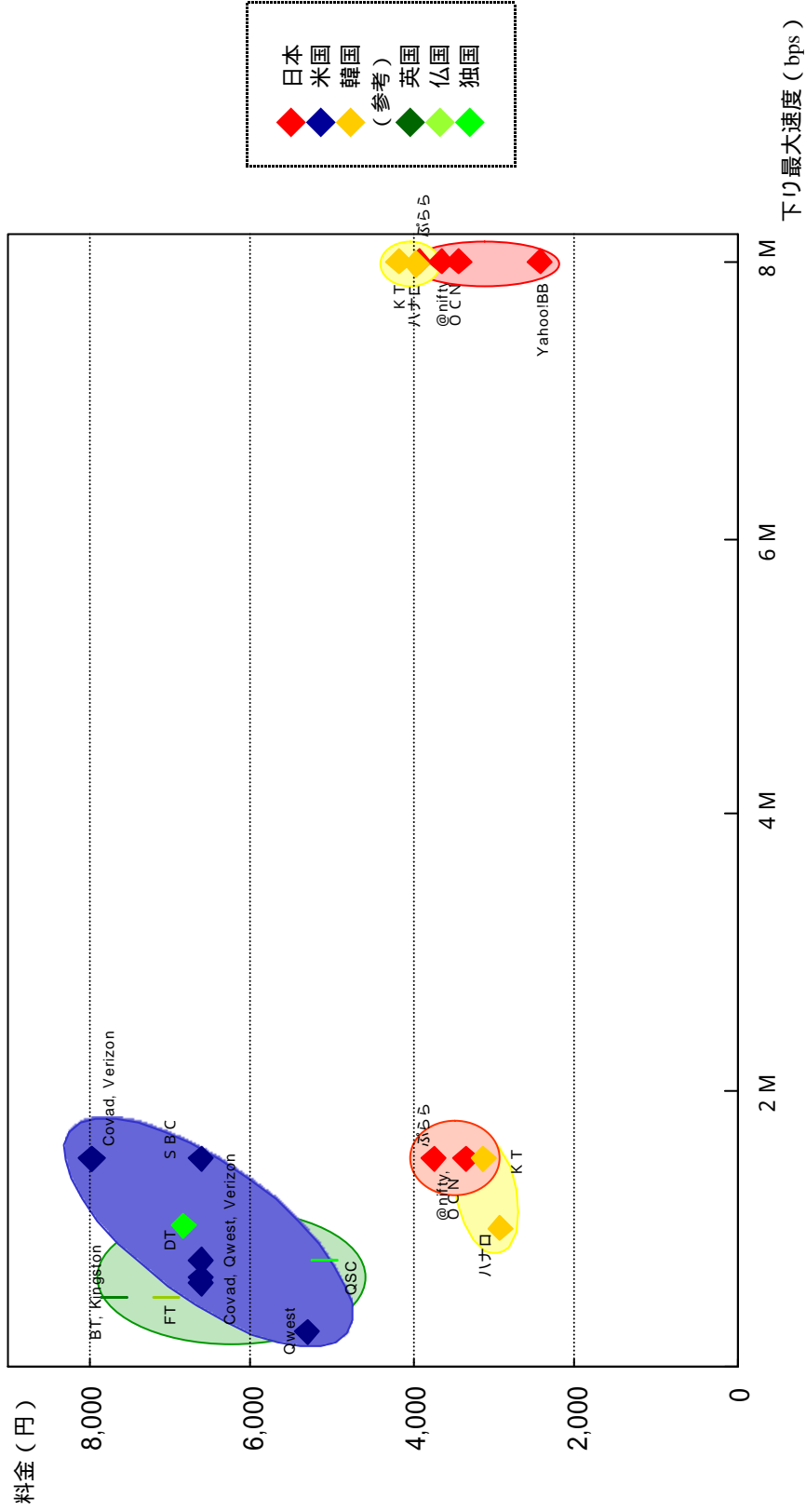
1 料金対象 : ADSL利用料金、ISP料金、NTT回線接続料(日本のみ)
 2 算出時期 : 日本と米国 2002年4月1日 韓国 2002年1月現在
 3 為替レート : 米ドル131.20円 (2002年3月平均MFレート) 韓国ウォン0.1045円 (2002年1月31日対顧客電子売相場)

出所 : 各社公表資料より情報通信総合研究所作成

「米国、韓国とのADSLインターネット料金の比較」(2)

日本は、価格、速度の両面で、米国よりも優れている。韓国とはほぼ同等

< ADSLインターネットの月額料金と速度の比較 >

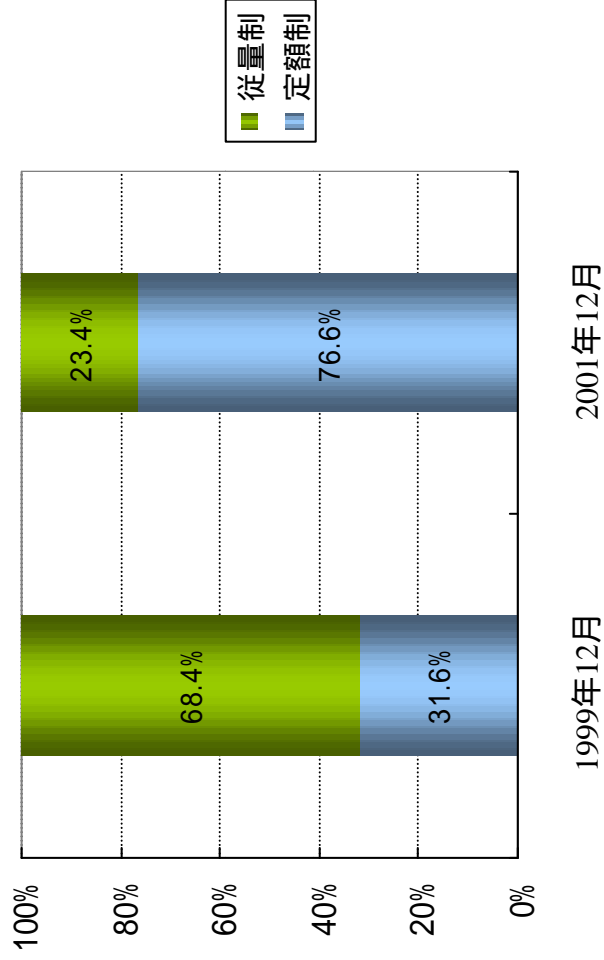


- 1 料金対象 : ADSL利用料金、ISP料金、NTT回線接続料(日本のみ)
- 2 算出時期 : 日本、米国、韓国 2002年4月1日 その他(英国、フランス) 2002年1月現在
- 3 為替レート : 米ドル131.26円 (2002年3月平均MFレート)
 韓国ウォン0.1045円 英国ポンド192.03円 仏/独国ユーロ115.99円 (2002年1月31日対顧客電子売相場)

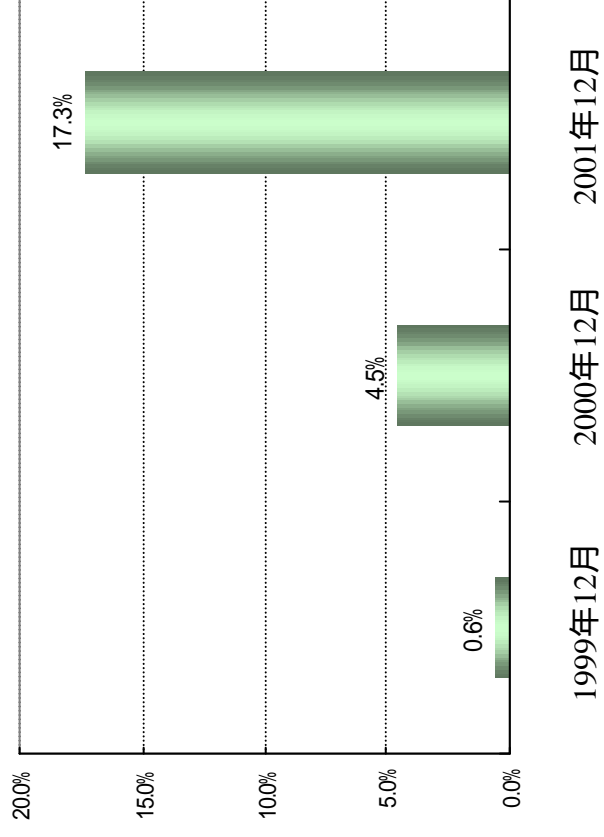
「インターネット環境の変化」

定額制料金、常時接続での利用者の比率が大きく増加している。

< 定額制料金での利用者の比率推移 >



< 常時接続での利用者の比率推移 >



定額制料金の利用者とは以下をいう。

- ブロードバンド利用者
- ナローバンドの定額制料金での利用者
- ナローバンドの一部定額制での利用者
 （一定の時間まで定額、それ以上は従量）
- ナローバンドの通話料がISP料金に含まれているプランの利用者

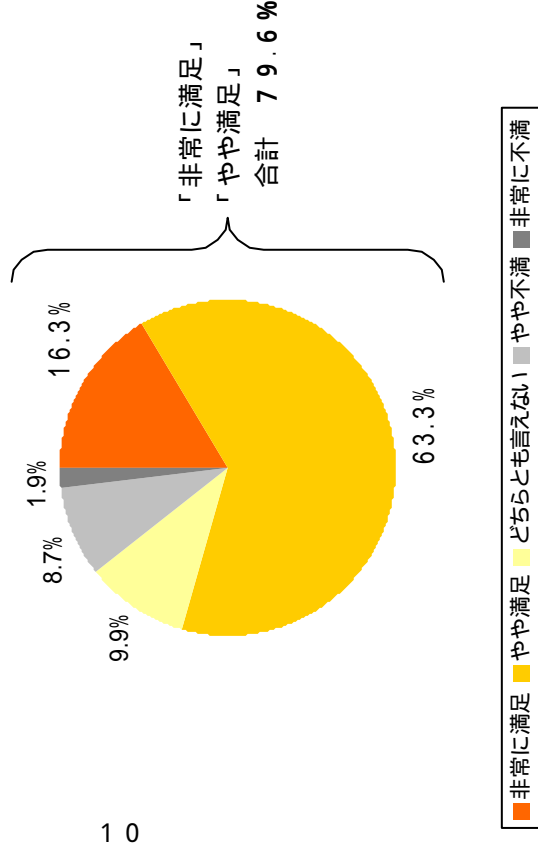
料金体系について「わからない」と回答したものは算出対象から除いている。

出所：（1999年）通信白書 平成12年度版を元に情総研にて算出
 （2000年、2001年）株式会社情報通信総合研究所

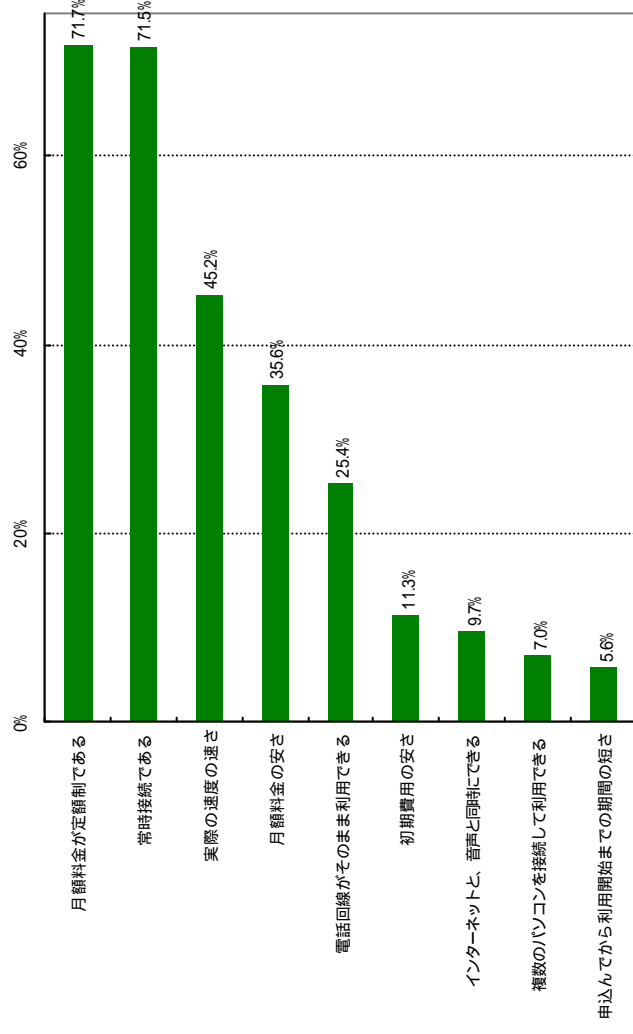
「ブロードバンドの評価と満足点」

ブロードバンド利用者の約80%が満足している。不満足は約10%と少数。「定額制料金」「常時接続」に多数が満足している。

<ブロードバンドの総合評価>



<ブロードバンドの満足点>



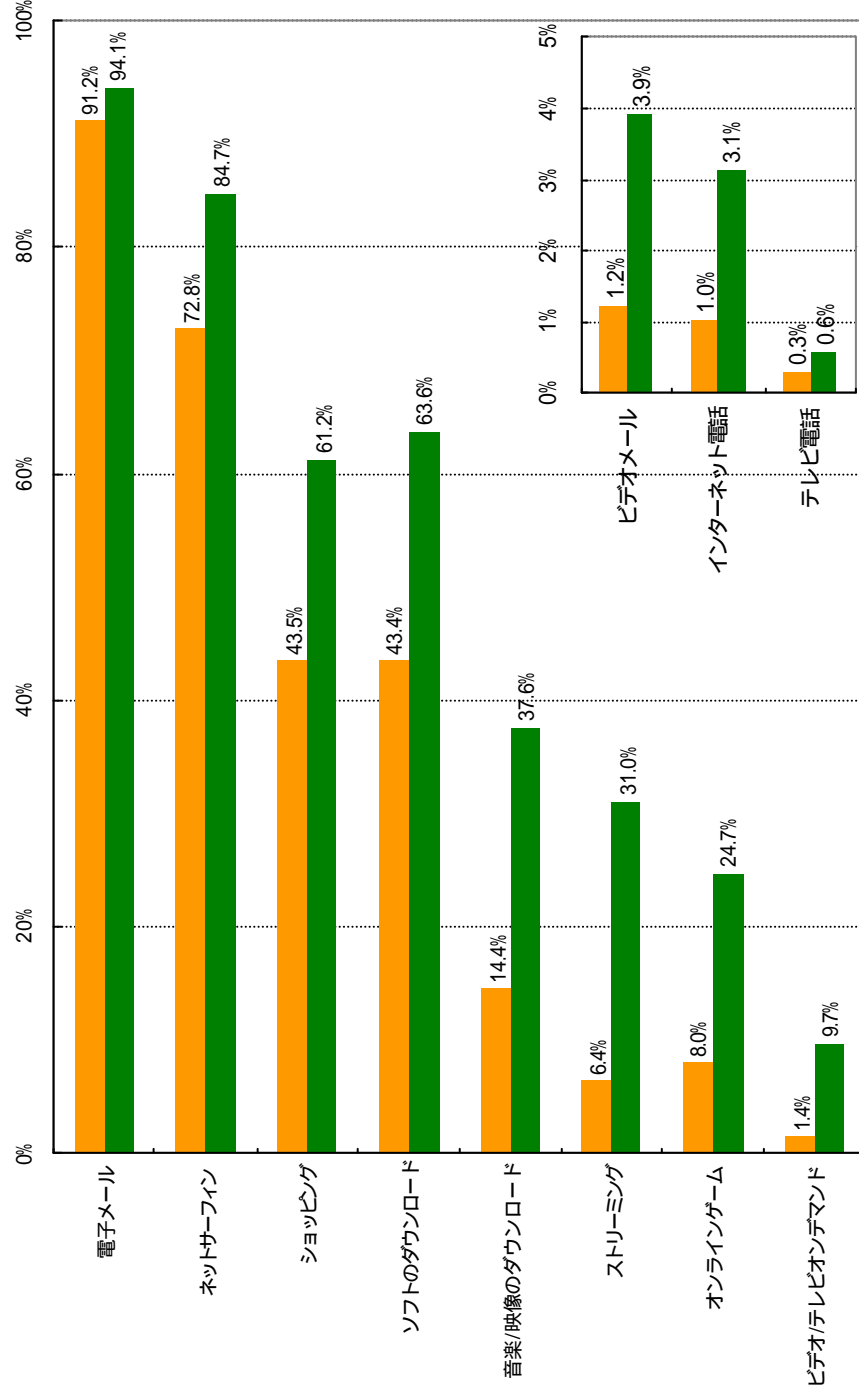
(SA N=2374)

(MA N=2398)

「ブロードバンド利用者の利用コンテンツ」

ブロードバンド利用後、「ストリーミング」「オンラインゲーム」「音楽/映像のダウンロード」「ソフトのダウンロード」「シヨッピング」が、大幅に増加。

<ブロードバンド利用前後の、コンテンツ利用の変化>



■ブロードバンド前 ■ブロードバンド後

(MA N=2398)

出所：株式会社情報通信総合研究所